



成田中だより

令和5年9月11日
 成田市立成田中学校
 TEL 0476-22-0304
 生徒数 503名
 文責 濱谷 昌人

《令和5年度学校教育目標》『 夢 へ 』

「誰もが夢を持ち、明日も行きたいと思える学校」を生徒とともに目指します！

2学期を充実させるために ～始業式での意見発表～



◎各教室で集中して話をしっかりと聴く成中生！

始業式の中で、各学年の代表として『意見発表』をしたのは、O.A.さん(1年)、I.H.さん(2年)、そして、N.A.さん(3年)でした。1学期の終業式に続き、図書室からのリモートによる始業式となりましたが、3人とも落ち着いて堂々と話す姿が立派でした。そして、各教室で3人の話を聴く皆さんの態度もまた立派でした。一堂に会した始業式ではありませんでしたが、成田中学校らしい、整然とした始業式になったと思います。

2学期を迎えた3人から、勢いのある前向きな意見発表を聴くことができ、久しぶりの学校に少々不安のあった人達も前向きな気持ちになれたのではないのでしょうか。以下に3人の発表を紹介します。

O.A.さん(1年)の「2学期の抱負」

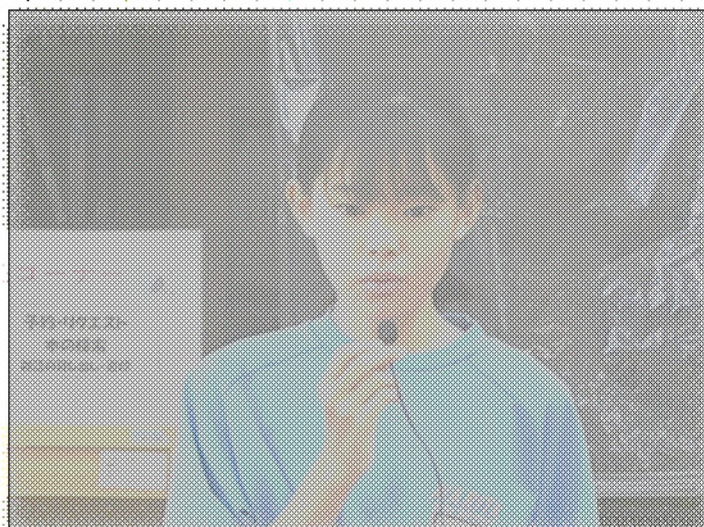
中学校生活は初めての夏休みは、今でも続く、うだるような暑さとは逆で、あっという間に過ぎていったように感じます。

私にとっての1学期は、学級委員や体育祭実行委員など、自分なりに何事も挑戦することができました。挑戦から得たものは多く、大きなやりがいを感じました。夏休み頑張れたことは、部活を1日も休まず参加できたことです。小さなことかもしれませんが、私の中では少し自信になっています。

これまでは自分の得意なことに力を発揮しましたが、2学期は自分の苦手なことにも向き合っていきたいです。まずは2学期すぐに定期テストがあるので、しっかり準備をして臨みたいです。私なりに、「英数30分プラス」をテーマに取り組みたいです。

2学期、1番楽しみなことは合唱コンクールです。体育祭が終わり、ずっと合唱コンクールを目指してきました。ムカデ競走で悔しい思いをした分、学級への強い想いはもちろんありますが、1年生としてみんなで元気よく歌いきれぬ素晴らしい合唱コンクールにしたいです。そして、体育祭のように熱い気持ちをもって、どのクラスも練習していけたらいいと思います。また、ホールという素晴らしい環境で先輩方の合唱を聴けることが今から楽しみです。

学年としては、2学期「モーニング・ワーク・チェック」という活動を行います。約1ヶ月、学校生活のプ



ランクがあるので、毎週月曜日、互いの仕事を確認し、週の仕事の見通しを立て、スムーズに活動に入れるようにすることが目的です。互いにフォローしながら、みんなで良いスタートをきる意識を持っていきたいです。今日からスタートですが、気がついた時にはもう3学期…と思えるような、中身が充実した2学期にしていきたいです。

I.H.さん(2年)の「2学期の抱負」



2学期になっての抱負は三つあります。一つ目は、委員会・係・行事などの役割について責任を持ち、継続して行うこと。二つ目は、授業中の態度や反応について見直し、改善させること。三つ目は、部活や学校生活の中で、成田中学校を引っ張っていく立場になるということを理解し、行動することです。

一つ目は1学期の成果で出た、委員会・係・行事などの役割について責任を持って行うというのを、引き続き継続させることです。「継続は力なり」ということわざの通り、どんな事でも継続していくことが、成功や習慣の第一歩になるのではないかと思います。

また、委員会や行事に積極的に参加することによっ

て、「自分の気持ちを伝える事ができる」「相手の話を聞くことができる」「自分が周りに支えられている」という自覚が備わることで、より2学年全体がまとまると考えました。

二つ目は、授業中の態度や反応について見直し、改善させる事です。これは、1年生の時の課題としても上がっていました。しかし、いまだに改善されていないということは一人一人の意識が低いという事だと思っています。それに加え、来年は受験生になるということを自覚し、授業中の姿勢や態度、私語などを改めることで改善していこうと思います。

三つ目は、部活や学校生活の中で、成田中学校を引っ張っていく立場になるということを理解し、行動することです。先輩方と生活できる日が徐々に減っていくにつれ、成田中学校のトップに立つことが多くなっていきます。それは、先輩方が、繋いでくれた伝統や文化のあるこの学校を、自分たちが受け継ぎ、守り抜かなければいけないという責任があります。その責任をしっかりと理解し、自分たちでやるべきことを考え、積極的に行動することが必要だと考えました。

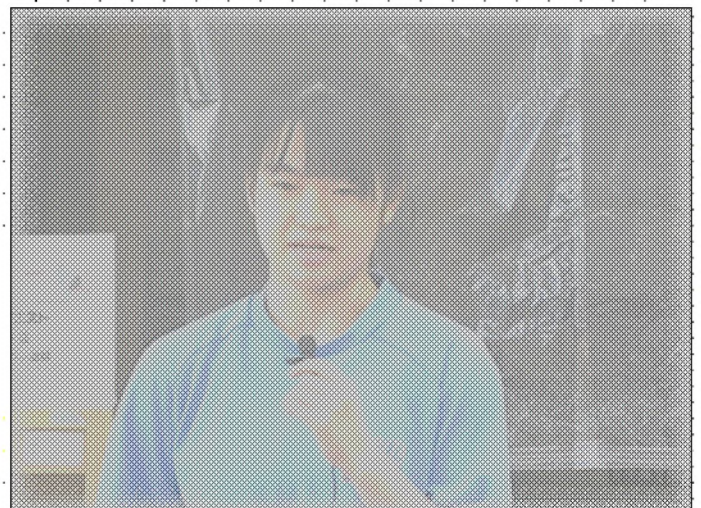
この三つの抱負から、来年受験生になるということを踏まえ、継続の大切さや授業中の態度などを意識することにより、成田中のトップになるという自覚が芽生え、2学年全体がまとまると思います。以上のことを2学期の抱負として成長していきたいと思っています。

N.A.さん(3年)の「2学期の抱負」

私は、3年生となり、初めて学級委員長を務めました。最初はどのように学級を引っ張っていけば良いのか分かりませんでした。行事などを重ねていくうちに、クラスの先頭に立ち仲間と声を掛ける大切さが分かるようになってきました。ですが、まだ積極的に引っ張っていないという課題があります。

2学期には周りをよく見て、できていないところはどこかを考え、学級を引っ張っていけるように頑張ります。

夏休み中頑張ったことは勉強です。中3になると受験があり、1・2年生の夏休みとは全然違いまし



た。部活動も終わり、高校見学や部活動の練習会にも行き本格的に高校を選ばなければいけない状況になり、改めて受験生ということを実感しました。私は3教科が苦手で、いつも点数がとれずにいました。そこで夏休み中は、3教科を中心にテストの点数が取れるように今までのテストの解き直しや落としてはいけない基礎的な問題を解くことを徹底的に取り組みました。

休み明けの2学期からは、定期テストや実力テストなどテストが増えます。1回1回のテストが大事になるので、それに向けて日々の授業を大切にしておかないところはそのままにせず、復習し理解して次の授業に取り組みたいです。

学級では切り替えをしっかりとするという目標がありましたが、行事の後の切り替えができずにいたため、後期では、全員の意識が高まるように声掛けなどをし改善していきたいです。

残りの中学校生活も7ヶ月になるので、行事では全力で楽しみ、受験に向けてお互いに切磋琢磨し目標を達成できるように頑張りたいです。

代表生徒の皆さんの発表はいかがでしたでしょうか。1・2年生は、大きく成長できる2学期になりそうです。そして、3年生にとっては、中学校生活最後の行事に燃え、進路に向けて邁進する、充実の2学期になりそうです。成田中の仲間達の素晴らしい意見発表を聞いて、「よし、自分も！」と思った人もいたに違いありません。その、素直で前向きな気持ちが大切です。さあ、みんなで、充実の2学期にしていきましょう！

「防災の秋」に真剣に考える ～予告なしの避難訓練にしっかり対応～



9月1日が「防災の日」に制定されていることから、9月は『防災の秋』と呼ばれることもあります。9月1日の日付は、1923年（大正12年）、すなわちちょうど100年前の9月1日に発生した関東大震災にちなんだものです。また、先週の金曜日(9/8)に台風13号の影響による大雨で大変な思いをして登下校した皆さんでしたが、例年この時季は台風の襲来が多いとされ、「災害への備えを怠らないように」との戒めも込められて制定されたそうです。

そして、本校では9月1日（金）、火災を想定した避難訓練を実施しました。今回は、予告なしでの訓練を実施しましたが、全校生徒が、無言で機敏によく動いていたと思います。今回の防災訓練で印象に残ったことは、どのクラスも、先生の指示に従いグラウンドへ迅速に移動し並ぶことができていたところです。ほとんどの生徒が、防災頭巾もしっかりとかぶっていましたね。頭を守ることは命を守ることです。防災の「当たり前」ができていて良かったです。残暑厳しい中での予告なし訓練でしたが、成中生の真剣さが伝わってきました。

反省点を挙げるとするならば、私が講評の中でも伝えたとおり、全員がハンカチを用意できていなかったことだと思います。新型コロナウイルス感染予防でマスクをしていたからだと思いますが、火災発生時には、炎から逃げることができても煙に巻かれて命を落とす人が少なくありません。また、煙以上に怖いのが、一酸化炭素中毒です。不完全燃焼によって発生するこの恐ろしい気体は、炎が小さい時ほど発生しやすく、しかも目に見えませんが匂いもしません。ほんのわずかな量でも、人間の命を奪ってしまう気体なので、一瞬の油断も許されないのです。火災発生時、大丈夫だと思って口からハンカチを離したときが危ないのです。





防災頭巾同様、ハンカチは、防災の「当たり前」だと考えてください。これを機に、成田中学校の誰もがいつでもハンカチを身に付けていることが「当たり前」の状況をつくっていきましょう。また、ハンカチは、止血にも使えますし、水にぬらせば火傷用のアイシングに活用することもできます。日常生活の中では、衛生面での必需品ですが、地震や火災が発生したときには、万能のアイテムとなることを知っておいてください。ご家庭でも、お子様にハンカチを持たせることにご協力ください。タオル系のハンカチならば、なお良いと思います。

話は変わりますが、4年前の秋、経験したことのないような台風や大雨により、千葉県全域で大きな被害を受けました。皆さんもよく覚えていると思います。房総半島台風と東日本台風による記録的な強風や大雨は、我々の住む千葉県に襲いかかり、ここ成田市にも大きな被害をもたらしました。強風により多くの建造物が破損し、大木や電信柱が次から次へと倒れ、そして、さらに大きな打撃となったのが、多くの地域で停電や断水が続いてしまったということです。電気が通らなくなると、今の世の中は、こんなにも弱いのかということが露呈されたような気がします。テレビから映し出される惨状を目の当たりにしながら痛感しました。電話は固定・携帯ともにつながりにくくなり、交通網が遮断されたところもありました。情報、物資の不足で不安と孤立感に苦しんでいた県民がたくさんいたに違いありません。

4年前、あの房総半島台風が来る前、最大級の台風がやってくると報道機関が必死に警戒を訴えていたにもかかわらず、学校も含め私達は、本気で備えをしていたかどうか大いに反省しなければいけないと、未だに私は思っています。先週の金曜日の台風の大雨の中、必死に登下校する皆さんの姿を見ながら、4年前の苦い教訓を今後に生かしていかなければならないと改めて肝に銘じました。『天災は忘れた頃にやってくる』と言われる。いざという時の備えは大丈夫か、避難はどこへすれば良いのか、各ご家庭で話し合っておいてください。

『防災の秋』です。

再び、ようこそ先輩！ ～B.Y.先生が、2度目の教育実習～

9月1日（金）より、1学期は保健体育科の教育実習生として母校の成田中学校に来てはつらつと頑張っていたB.Y.先生が、今度は養護教諭の教育実習生として母校の保健室に帰ってきました。1学期に引き続き、毎朝、登校してくる成中生と外で明るい笑顔で爽やかに挨拶を交わしていますね。そんなB先生から、成中生の皆さんへ2回目のコメントをもらいました。

B.Y. 先生より

成田中の皆さん、お久しぶりです。S大学より参りましたB.Y.です。前回の5月は、「保健体育」の教師としての実習でしたが、今回は「養護教諭」と言っても、保健室の先生になるための教育実習でお世話になっています。

再び、皆さんの元気な顔を見ることができて、とても嬉しく思います。

今回の実習でもたくさんお話ししたいので、夏休みの思い出や嬉しかったこと、困っていることなど、何でも聞かせてください。

約1ヶ月間の実習となります。よろしくお願ひします。

